

付属資料・目次

改修特記仕様書（抜粋）	特 1
現場説明付記事項・配置図	1
平面図	2～7
立面図	8～9
矩形図	1 0

I 工 事 概 要

1. 工事場所
- 京都市左京区吉田下阿達町4-6（京都大学旧京都織物跡構内）
2. 完成期限
- 令和8年2月27日（金曜日）
3. 建物概要

建 物 名 称		学内共同研究センター 共同研究棟
工 種		模様替
構 造 ・ 階 数		RC造 地上5階
建築基準法による	建築面積 (㎡)	500.84㎡
	延べ面積 (㎡)	2,123.24㎡
消防法施行令別表第一の区分		(7)項
改 修 面 積 ( ㎡ )		2,123.24㎡
備 考		

4. 工事種目
- 印の付いたものが対象工事種目

工 事 種 目	工 事 種 別
建 物 名 称	学内共同研究センター 共同研究棟
空調設備	○
換気設備	○
排煙設備	・
自動制御設備	○
衛生器具設備	○
給水設備	○
排水設備	○
給湯設備	・
消火設備	○
ガス設備	○
動力設備	○
雨水利用設備	・
撤去工事	○

5. 指定部分
- 無 ・ 有 対象部分（
- 指定部分工期
- 令和 年 月 日（ 曜日）
6. 概成工期
- 無 ・ 有 令和 年 月 日（ 曜日）

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様

- （1）国立大学法人京都大学契約事務取扱要領（平成16年4月1日財務担当理事裁定制定）別記1の  
工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書によるほか、○のついたものを適用する。  
○ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）  
○ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和7年版）  
○ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和7年版）  
○ 文部科学省機械設備工事標準仕様書（特記基準）（令和4年版）  
○ 文部科学省機械設備標準図（特記基準）（平成31年版）  
○ 工事写真撮影要領（令和5年9月）

2. 施工条件

- この工事現場では、次の施工条件による
- (1) 構内の行事等により作業が制限されることがあるため、監督職員と協議を行い、工程を決定すること。
- (2) 本工事建物周辺には、研究棟や住宅等が立地することを十分認識し、周辺への影響に配慮すると共に、安全にも十分配慮すること。
- (3) 工事用地および工事用地周辺において適切な養生・清掃を行うこと。また、工事車両の搬出入時などに周辺道路等を汚損、破損等した場合は速やかに対応すること。
- (4) 騒音・振動・粉塵の発生する作業は、低騒音・低振動・低粉塵工法を採用すること。
- (5) 臭気の発生する作業は、周囲に対して影響が少ない工法を採用すること。
- (6) 学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。その他、学内行事等による作業の中止については、監督職員と協議すること。
- (7) 工事車両の通行は交通整理員を配置する等、安全対策を講ずること。
- (8) その他建物内や敷地周囲に影響があると思われる作業については、監督職員と協議を行い進めること。
- (9) 工事用地内の環境美化（草刈り等）に努めること。
- (10) 構内実施中、又は実施が決定した他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。

工事名 京都大学（南部）学内共同研究センター共同研究棟改修機械設備工事			工事名  特 1
図面名称	縮尺	設計日	
改修特記仕様書（抜粋）	—	令和7年6月	

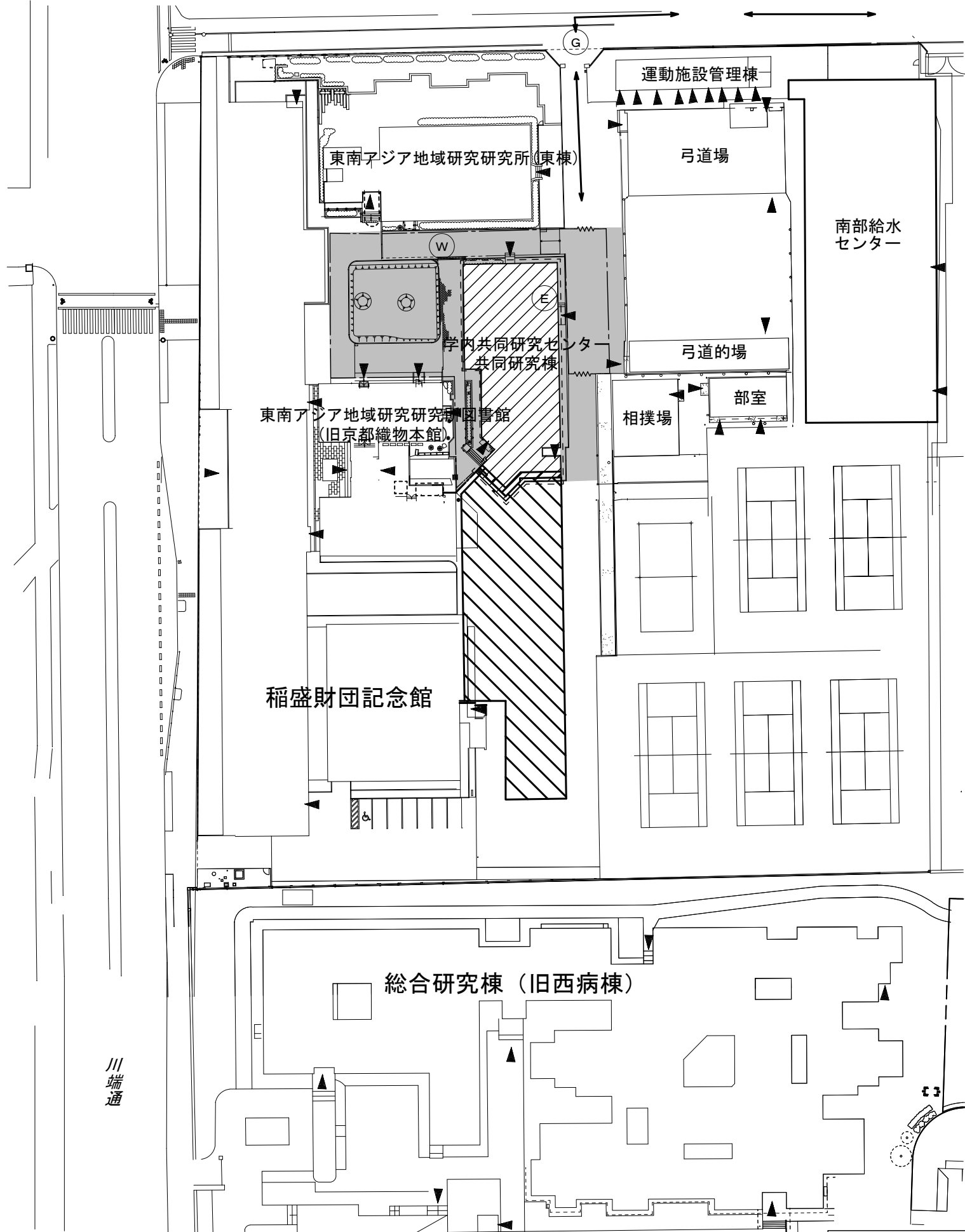
現場説明付記事項

1 工事施工上の注意事項

- 1) 車両通行経路は、図示の通りとし監督職員と協議の上、誘導員等を配置し、交通整理を行うこと。  
工事車両は周辺道路上での違法駐車は行わないようにし、また路上に縦列待機させることも行わないこと。
- 2) 工事用地は図示の範囲とし、危険防止のため関係者以外の出入ができないようにすること。また、工事関係車両（通勤車両を含む）は工事用地内に駐車することを原則とし、構内の駐車エリア、道路及び空地への駐車は行わないこと。
- 3) 学校行事・近隣地区行事を考慮して工事計画を立てること。  
以下の日程は試験及び行事予定日のため、作業中止日として、工事の計画を立てること。  
・令和7年11月20日、11月21日、11月22日、11月23日（11月祭）  
・令和7年12月14日（特色入試）  
・令和8年1月17日、1月18日（大学共通テスト）  
・令和8年2月25日、2月26日（一般入試）
- その他、学内の試験等による作業の中止については、監督職員と協議すること。
- 4) 撤去工事その他で大きな音、振動等が生じる場合は、あらかじめ監督職員に日時を連絡し、承諾を得て工事を進めること。また、施工中の防音対策を十分に検討し行うこと。
- 5) 教職員、学生等の通行が煩雑なため、構内車両通行には徐行の徹底等、十分注意するよう指導を行うこと。
- 6) 工事場所内に火災予防のため適切な数量の消火器を設置するとともに、工事関係者に対し、火気等の取り扱いに十分注意するよう指導を行うこと。
- 7) 支障となる地中埋設物を発見した時は、監督職員と協議の上撤去し、適正処分すること。
- 8) 工事用地は、除草等常に良好な環境を保持すると共に工事完成時には原状に復旧して返還すること。
- 9) 同一構内の他工事の業者と連絡調整を密に行い、安全かつ円滑な工事の実施に努めること。
- 10) 作業時間は、午前8時30分から午後5時15分を原則とすること。
- 11) 敷地内及び近隣では喫煙は行わないこと。

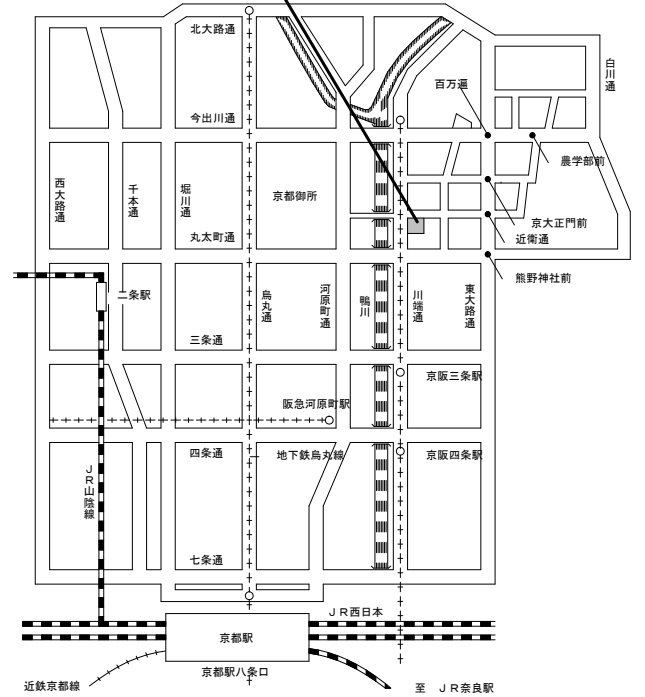
2 工事中の構内安全対策について

- 工事中の構内安全対策については、下記事項を十分留意した上、具体的な安全対策等を立案し、監督職員と協議の上、承諾を受けるものとする。
- 1) 監督職員と協議の上、構内要所に工事予告板、警戒標識板、交通規制標識板、工事表示板、案内板等を設置し、常に良好な状態に保つこと。
- 2) 構内で工事に伴い、段差等の危険な状態となる箇所には、安全柵、工中表示板（点滅灯付）を、夜間は保安灯及び赤色回転灯を設置し、安全な状態を確保すること。
- 3) 構内通行の安全及び騒音防止のため工事用車両は徐行すること。
- 4) 大型車両の構内通行に際し、地中埋設物、マンホール等は必要に応じ養生を行うこと。
- 5) 大型車両による作業の場合は必要に応じて交通整理員を追加増員し、誘導・交通整理等により構内の安全確保に努めること。
- 6) 仮囲いの設置に伴い、構内通路の視認性が確保できない場合は、常夜灯及びコーナ一部に透明パネルを設置するなど安全確保に努めること。



構内配置図 S=1/400

京都大学旧京都織物跡構内

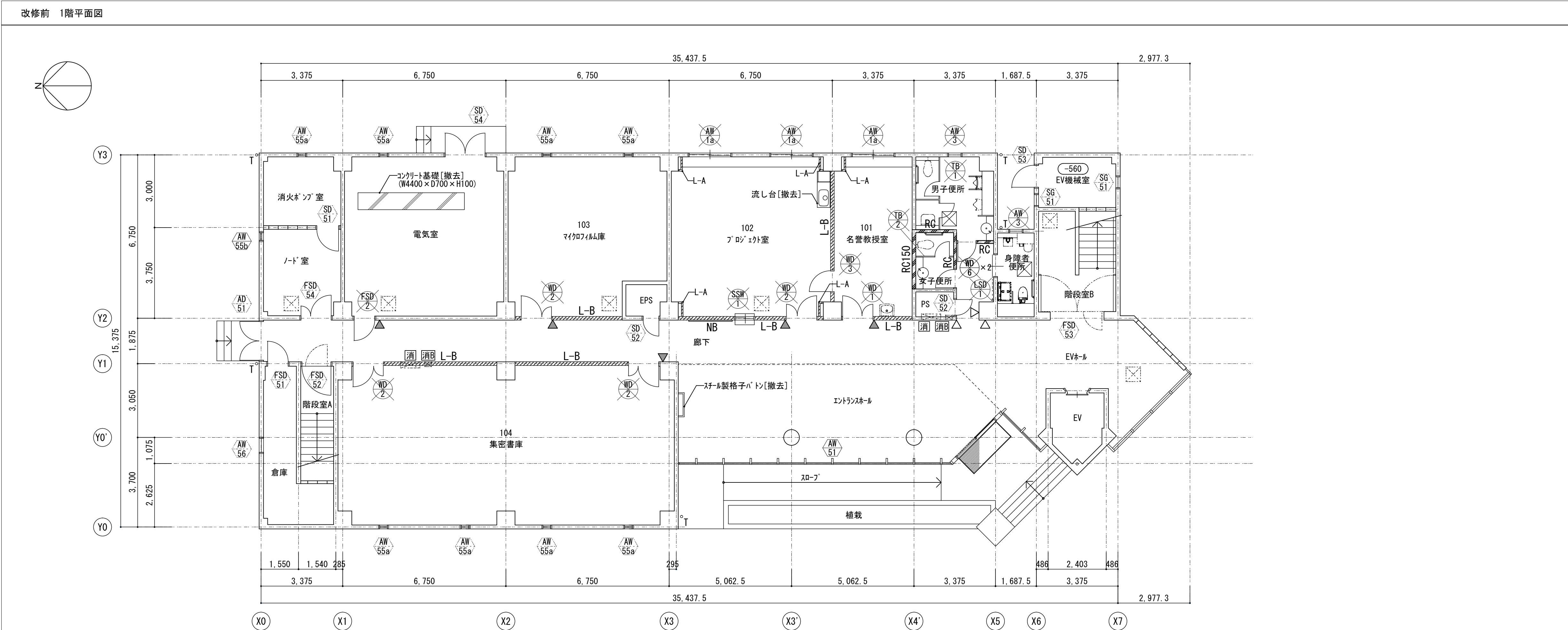


案内図

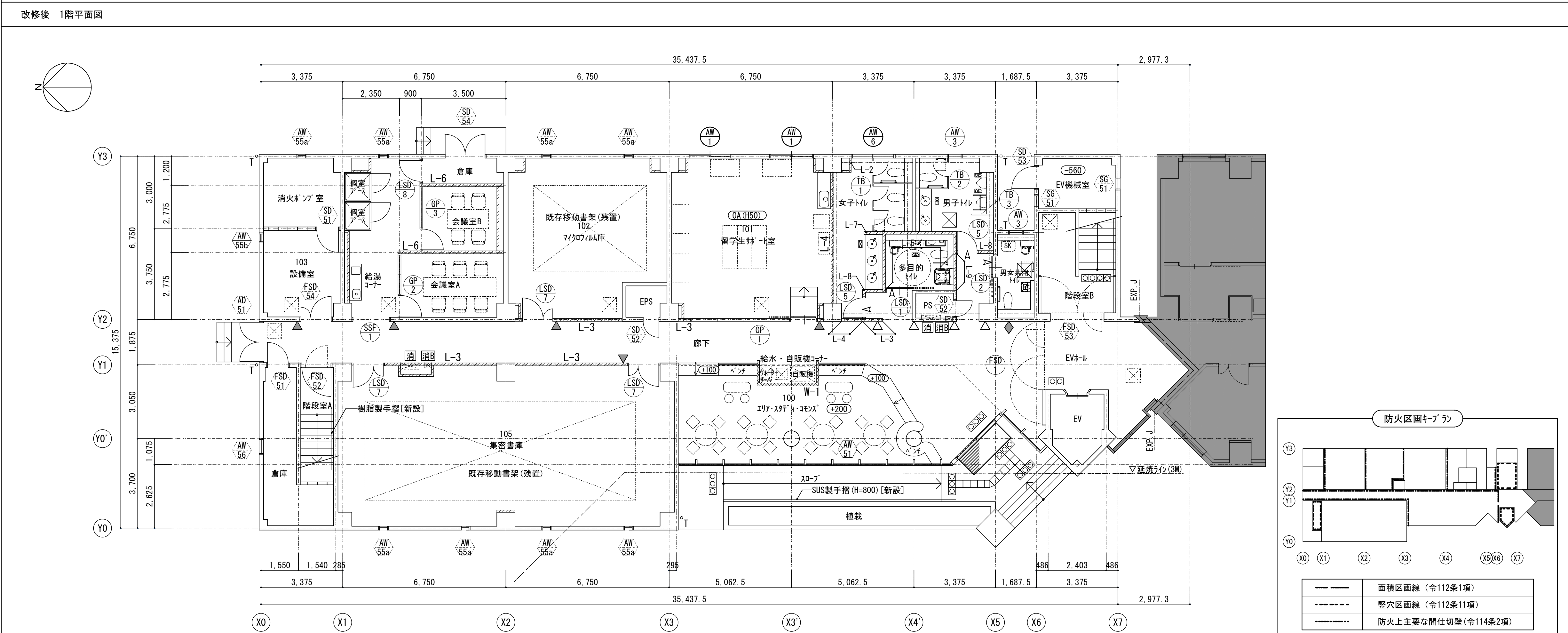
凡 例

記 号	内 容
	本工事建物
	建築中建物（令和7年1月～令和8年2月）
	工事用地 1,050㎡
	仮囲い（フェンス・リケート H=1.8m） 合計 = 125m 【別途建築工事】
	養生シート張り 外部くさび式本足場 H=建物棟高さまで 合計=113m ※フェンス・リケート設置 ※出入口部は鎖等の鍵付き施設の上、 侵入対策を行うこと ※上記範囲外の外壁改修は高所作業 車等で行う 【別途建築工事】
	パネルゲート 2ヶ所 【別途建築工事】
	工事用車両進入経路
	交通整理員（大型車両搬出入時等）
	水道分岐位置
	電力分岐位置

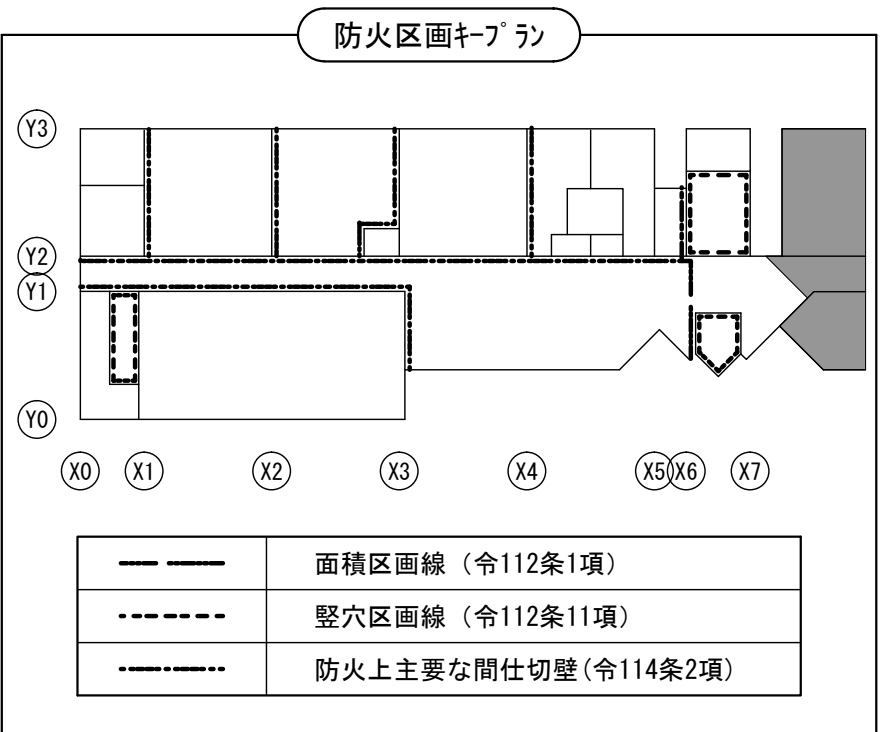
工事名 京都大学（南部）学内共同研究センター共同研究棟改修機械設備工事			図面番号  1
図面名称 現場説明付記事項・配置図	縮尺 A1：1/200 A3：1/400	設計日 令和7年6月	



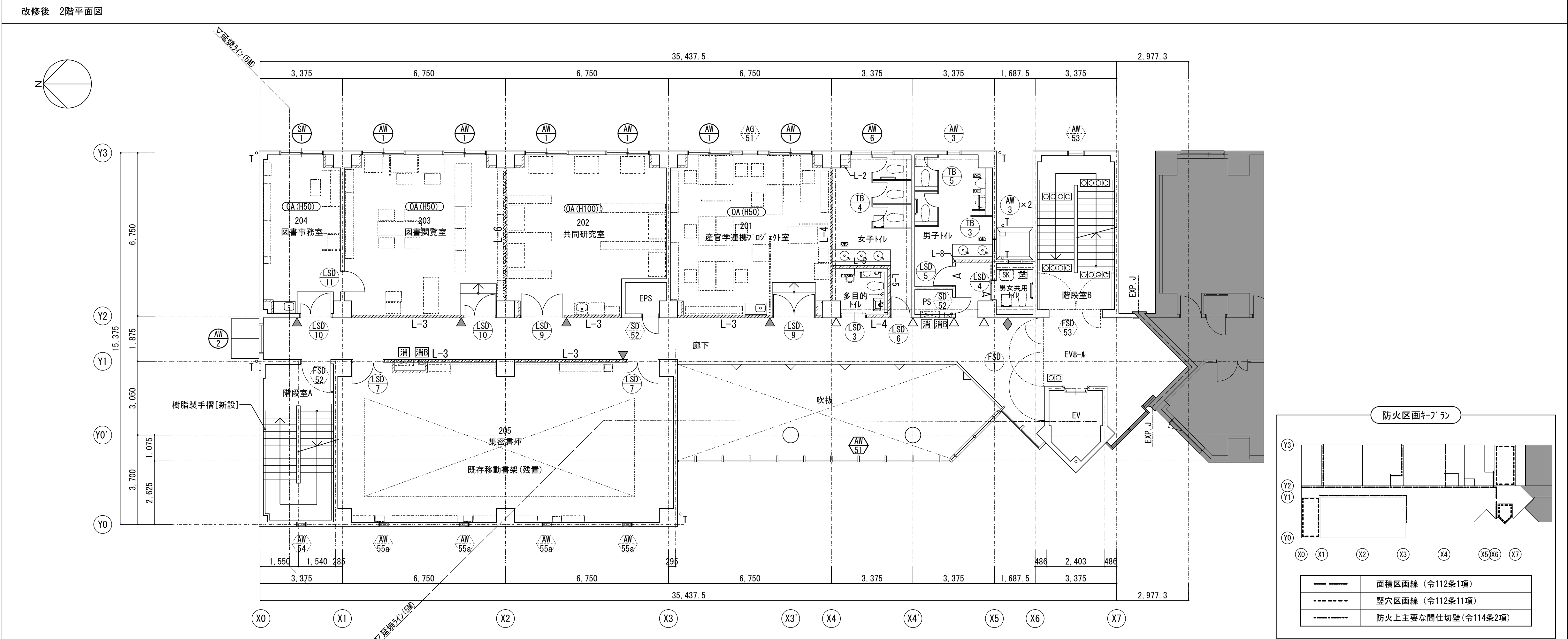
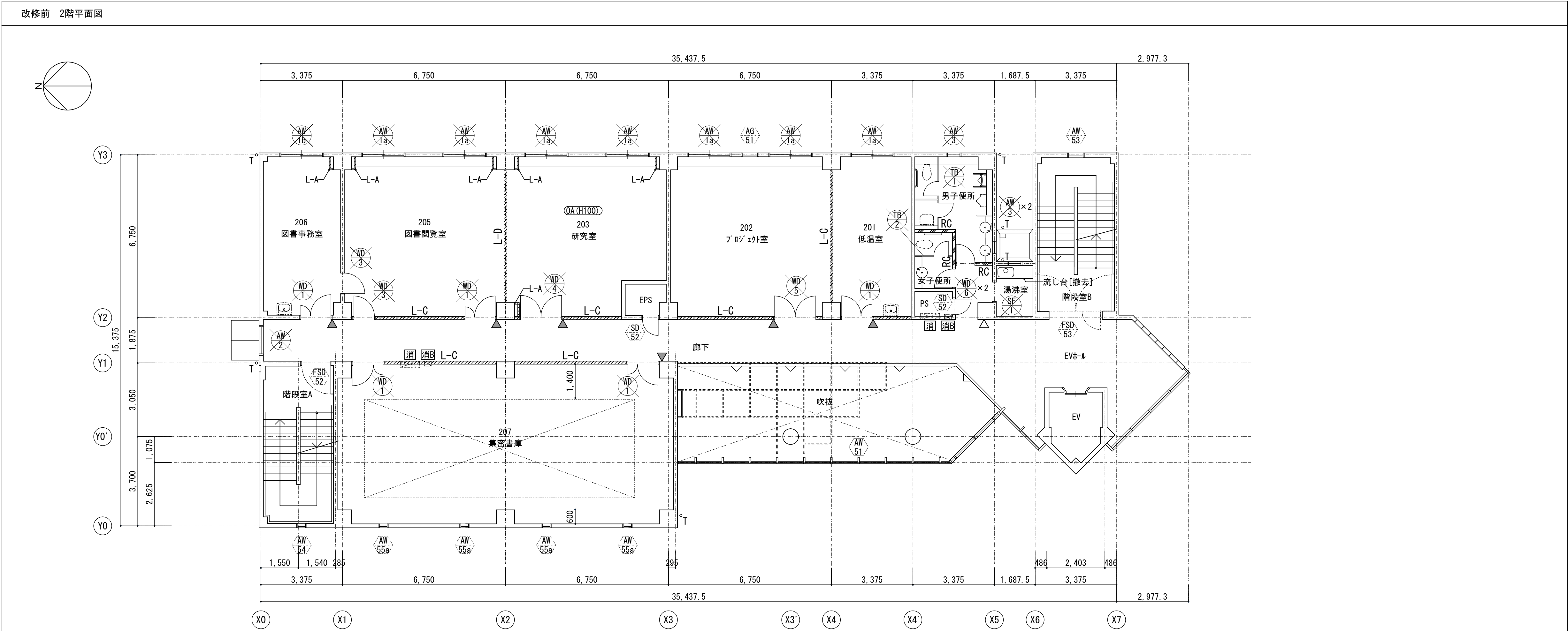
凡例	
	撤去建具を示す
	改修建具を示す
	既設建具を示す
	[存置]
	LGS下地壁撤去を示す
	[撤去]
	LGS+(片面)GB-R(7)9.0[7倉]
	[撤去]
	LGS+(両面)GB-F(7)21+21[7倉]
	[撤去]
	LGS+(両面)GB-F(7)15+15[7倉]
	[撤去]
	LGS+(両面)GB-F(7)9+9[7倉]
	[撤去]
	鉄筋コンクリート壁撤去を示す (※特記無き限り、(7)120とする)
	[撤去]
	縦樋:カーVPφ100を示す
	[撤去]
	室名札
	[撤去]
	レタリング
	[撤去]
	WB:ホワイトボード(W3400×H1200) (5F:1箇所)
	[撤去]
	NB:掲示板(W1800×H1500) (1F:1箇所)
	[撤去]
	BB:黒板(W3400×H1200) (3F:1箇所)
	[撤去]
	屋内消火栓
	[※別途設備工事]
	消火器ボックス(埋込型)
	[撤去]
	床下点検口(600×600) (1F:2箇所)
	[撤去]



凡例	
	新設建具を示す
	改修建具を示す
	既設建具を示す
	LGS(65)下地壁新設を示す (※特記なき限りL-1とする) ※表層仕上:GB-F、GB-R、FK→EP塗
	[新設]
	カー壁:(片面)GB-R(7)12.5+9.5
	[新設]
	水廻りPS:(片面)GB-S(7)12.5+9.5+9.5化粧板(7)3
	[新設]
	耐火1H壁:(両面)GB-F(7)12.5+12.5
	[新設]
	耐火1H+遮音壁:GW(7)50+(片面)GB-F(7)12.5+12.5 (片面)GB-F(7)12.5+12.5+9.5化粧板(7)3
	[新設]
	遮音壁:GW(7)50+(両面)GB-S(7)12.5+9.5+9.5化粧板(7)3
	[新設]
	(両面)GB-R(7)12.5+12.5
	[新設]
	(両面)GB-S(7)12.5+9.5化粧板(7)3
	[新設]
	(片面)GB-S(7)12.5+9.5化粧板(7)3 (片面)GB-R(7)12.5+12.5
	[新設]
	遮音壁:GW(7)50+(片面)GB-S(7)12.5+9.5+9.5化粧板(7)3 (片面)GB-S(7)12.5+9.5+9.5化粧板(7)3
	[新設]
	自立型間仕切壁:(片面)GB-R(7)12.5+9.5 (片面)GB-S(7)12.5+9.5化粧板(7)3
	[新設]
	縦樋:カーVPφ100を示す
	[新設]
	サインA(案内板)
	[新設]
	サインB(室名サイン:平付型)
	[新設]
	サインC(レタリング:平付型)
	[新設]
	サインD(レタリング:カチンシート貼)
	[新設]
	点字サイン、誘導サインを示す(ステンレス)
	[新設]
	WB:ホワイトボード
	[新設]
	屋内消火栓
	[新設]
	消火器ボックス(埋込型)
	[新設]
	床下点検口(600×600) (1F:2箇所)
	[新設]
	床レベルを示す (特記なき限りFL=±0とする)
	工事範囲外を示す







凡例	
	撤去建具を示す
	改修建具を示す
	既設建具を示す [存置]
	LGS下地壁撤去を示す [撤去]
	LGS+(片面)GB-R(7)9.0[7舎] [撤去]
	LGS+(両面)GB-F(7)21+21[7舎] [撤去]
	LGS+(両面)GB-F(7)15+15[7舎] [撤去]
	LGS+(両面)GB-F(7)9+9[7舎] [撤去]
	鉄筋コンクリート壁撤去を示す [※特記無き限り、(7)120とする] [撤去]
	縦筋:か-VPφ100を示す [撤去]
	室名札 [撤去]
	レタリング [撤去]
	WB:おひたしボード(W3400×H1200) (SF:1箇所) [撤去]
	NB:掲示板(W1800×H1500) (1F:1箇所) [撤去]
	BB:黒板(W3400×H1200) (3F:1箇所) [撤去]
	屋内消火栓 [※別途設備工事]
	消火器ボックス(埋込型) [撤去]
	床下点検口(600×600) (1F:2箇所) [撤去]

凡例	
	新設建具を示す
	改修建具を示す
	既設建具を示す
	LGS(65)下地壁新設を示す (※特記なき限りL-1とする) ※表層仕上:GB-F、GB-R、FK→EP塗 [新設]
	カパ壁:(片面)GB-R(7)12.5+9.5 [新設]
	水廻りPS:(片面)GB-S(7)12.5+9.5+9.5化粧板(7)3 [新設]
	耐火1H壁:(両面)GB-F(7)12.5+12.5 [新設]
	耐火1H+遮音壁:GW(7)50+(片面)GB-F(7)12.5+12.5 (片面)GB-F(7)12.5+12.5+9.5化粧板(7)3 [新設]
	遮音壁:GW(7)50+(両面)GB-S(7)12.5+9.5+9.5化粧板(7)3 [新設]
	(両面)GB-R(7)12.5+12.5 [新設]
	(両面)GB-S(7)12.5+9.5+9.5化粧板(7)3 [新設]
	(片面)GB-S(7)12.5+9.5+9.5化粧板(7)3 (片面)GB-R(7)12.5+12.5 [新設]
	遮音壁:GW(7)50+(片面)GB-S(7)12.5+9.5+9.5化粧板(7)3 (片面)GB-S(7)12.5+9.5+9.5化粧板(7)3 [新設]
	自立型間仕切壁:(片面)GB-R(7)12.5+9.5 (片面)GB-S(7)12.5+9.5+9.5化粧板(7)3 [新設]
	縦筋:か-VPφ100を示す [新設]
	サインA(案内板) [新設]
	サインB(室名サイン:平付型) [新設]
	サインC(レタリング:平付型) [新設]
	サインD(レタリング:カチンサイン貼) [新設]
	点字タイプ、誘導タイプを示す(ステンレス製) [新設]
	WB:おひたしボード(W3400×H1200) [新設]
	屋内消火栓 [※別途設備工事]
	消火器ボックス(埋込型) [新設]
	床下点検口(600×600) (1F:2箇所) [新設]
	床レベルを示す (特記なき限りFL=±0とする)
	工事範囲外を示す



凡例	
	撤去建具を示す
	改修建具を示す
	既設建具を示す
	[存置]
 L-※	LGS下地壁撤去を示す
	[撤去]
 L-A	LGS+(片面)GB-R(7)9.0[7倉]
	[撤去]
 L-B	LGS+(両面)GB-F(7)21+21[7倉]
	[撤去]
 L-C	LGS+(両面)GB-F(7)15+15[7倉]
	[撤去]
 L-D	LGS+(両面)GB-F(7)9+9[7倉]
	[撤去]
 RG	鉄筋コンクリート壁撤去を示す (※特記無き限り、(7)120とする)
	[撤去]
○ T	竖樋:お-VPφ100を示す
	[撤去]
	室名札
	[撤去]
	ビクトリア
	[撤去]
 WB	WB:ホワイトボード(W3400×H1200) (5F:1箇所)
	[撤去]
 NB	NB:掲示板(W1800×H1500) (1F:1箇所)
	[撤去]
 BB	BB:黒板(W3400×H1200) (3F:1箇所)
	[撤去]
	屋内消火栓
	[※別途設備工事]
	消火器※ ガス(埋込型)
	[撤去]
	床下点検口(600×600) (1F:2箇所)
	[撤去]

**改修後 3階平面図**

The main floor plan includes the following details:

- Dimensions:** Overall width is 35,437.5; overall depth is 2,977.3. Individual room widths range from 1,540 to 6,750.
- Rooms and Areas:** 304 教員室, 303 教員室, 302 教員室, 301 実験室, 多目的トイレ, 男女子トイレ, 給湯室, 階段室B, 廊下, 樹脂製手摺【新設】, 階段室A, 305 教員室, 306 教員室, A・D・C社会連携室, 屋上付2, 平場・高圧洗浄・屋外用防滑性レニール床シート(7)2.5【新設】.
- Structural Elements:** L-3, L-6, L-8, L-13, L-14, L-15, L-16, L-17, L-18, L-19, L-20, L-21, L-22, L-23, L-24, L-25, L-26, L-27, L-28, L-29, L-30, L-31, L-32, L-33, L-34, L-35, L-36, L-37, L-38, L-39, L-40, L-41, L-42, L-43, L-44, L-45, L-46, L-47, L-48, L-49, L-50, L-51, L-52, L-53, L-54, L-55, L-56, L-57, L-58, L-59, L-60, L-61, L-62, L-63, L-64, L-65, L-66, L-67, L-68, L-69, L-70, L-71, L-72, L-73, L-74, L-75, L-76, L-77, L-78, L-79, L-80, L-81, L-82, L-83, L-84, L-85, L-86, L-87, L-88, L-89, L-90, L-91, L-92, L-93, L-94, L-95, L-96, L-97, L-98, L-99, L-100.
- New Installations:** SUS製手摺(H1100)【新設】.

**防火区画キープラン**

線種	説明
———	面積区画線（令112条1項）
- - - - -	壁穴区画線（令112条11項）
· · · · ·	防火上主要な間仕切壁（令114条2項）

**訂正**

令和	年	月	日

**業務名称**

京都大学(南部)学内共同研究センター共同研究棟  
改修機械設備工事

**図面名称**

3階平面図（改修前・改修後）

**縮尺**

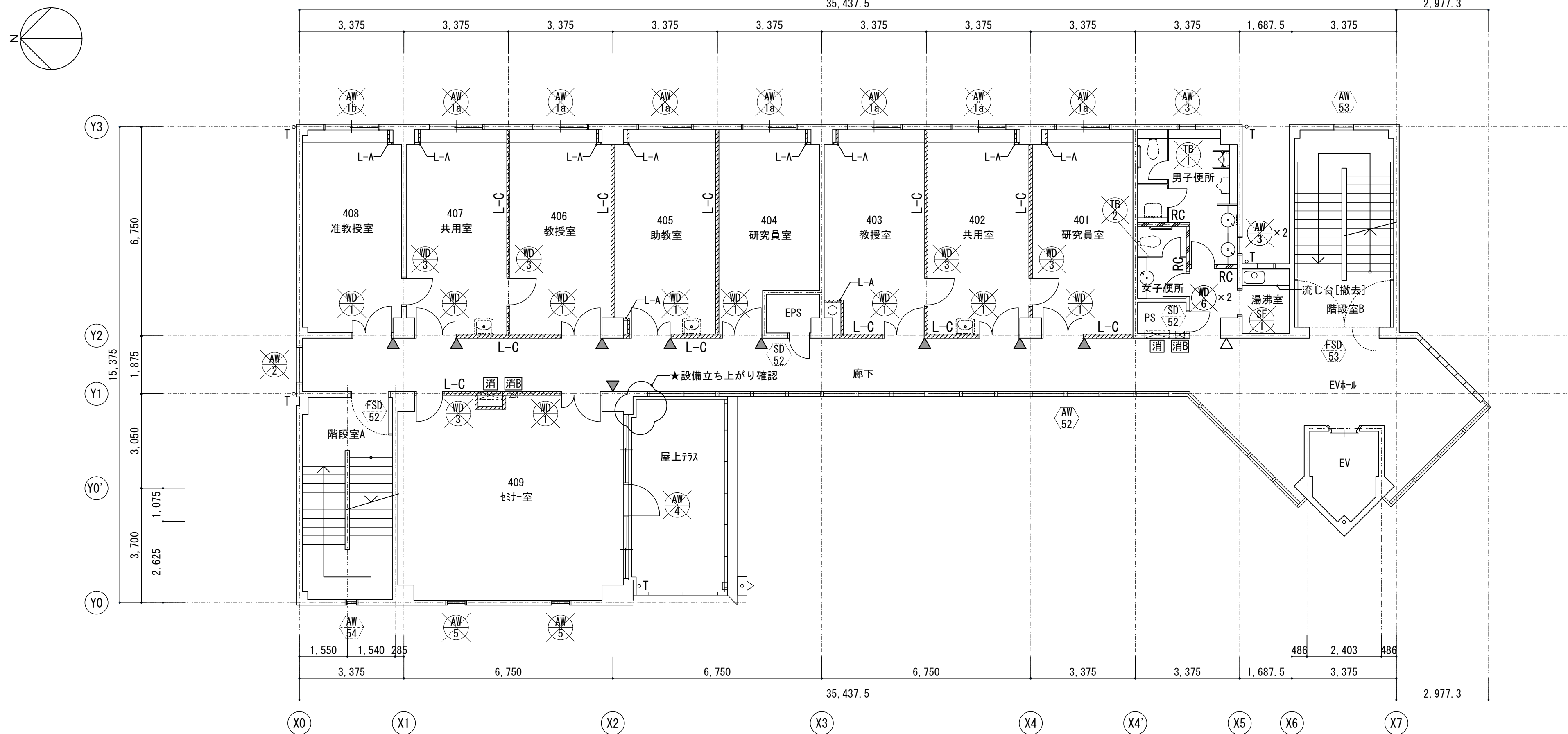
A1 1  
A3 3

		凡例	
		新設建具を示す	
		改修建具を示す	
		既設建具を示す	
L-※ 		LGS(65)下地壁新設を示す（※特記なき限りL-1とする） ※表層仕上：GB-F、GB-R、FK→EP塗	[新設]
L-1 		7φ壁：(片面)GB-R(7)12.5+9.5	[新設]
L-2 		水廻りPS：(片面)GB-S(7)12.5+9.5+9.5化粧板(7)3	[新設]
L-3 		耐火1H壁：(両面)GB-F(7)12.5+12.5	[新設]
L-4 		耐火1H+遮音壁：GW(7)50+(片面)GB-F(7)12.5+12.5 (片面)GB-F(7)12.5+12.5+9.5化粧板(7)3	[新設]
L-5 		遮音壁：GW(7)50+(両面)GB-S(7)12.5+9.5+9.5化粧板(7)3	[新設]
L-6 		(両面)GB-R(7)12.5+12.5	[新設]
L-7 		(両面)GB-S(7)12.5+9.5化粧板(7)3	[新設]
L-8 		(片面)GB-S(7)12.5+9.5化粧板(7)3 (片面)GB-R(7)12.5+12.5	[新設]
L-9 		遮音壁：GW(7)50+(片面)GB-S(7)12.5+9.5+9.5化粧板(7)3 (片面)GB-R(7)12.5+12.5	[新設]
W-1 		自立型間仕切壁：(片面)GB-R(7)12.5+9.5 (片面)GB-S(7)12.5+9.5化粧板(7)3	[新設]
○ T 		堅樋：f=VP φ100を示す	[新設]
		サインA(案内板)	[新設]
		サインB(室名サイン：平付型)	[新設]
		サインC(ピクトサイン：平付型)	[新設]
A 		サインD(ピクトサイン：カギゲンシト貼)	[新設]
		点字タイル、誘導タイルを示す(ステンシル紙)	[新設]
WB 		WB：ボルト「ド」を指す	[新設]
		屋内消火栓	[※別途設備工事]
		消火器ボックス(埋込型)	[新設]
		床下点検口(600×600) (1F：2箇所)	[新設]
+100 		床レベルを示す (特記なき限りFL±0とする)	
		工事範囲外を示す	
図面番号		令和 7 年 6 月	課長
4			
校の内		京 都 大 学 施 設 部	

訂 正	金 和   年   月   日	業務名称	京都大学(南部)学内共同研究センター共同研究棟 改修機械設備工事	図面番号	工事名称 京都大学(南部)学内共同研究センター共同研究棟 改修機械設備工事		図面番号  4	令和 7 年   6 月		課 長
					図面名称 縮尺	校の内		京 都 大 学 施 設 部		
					3階平面図（改修前・改修後） <div>A1 1/100 A3 1/200</div>					

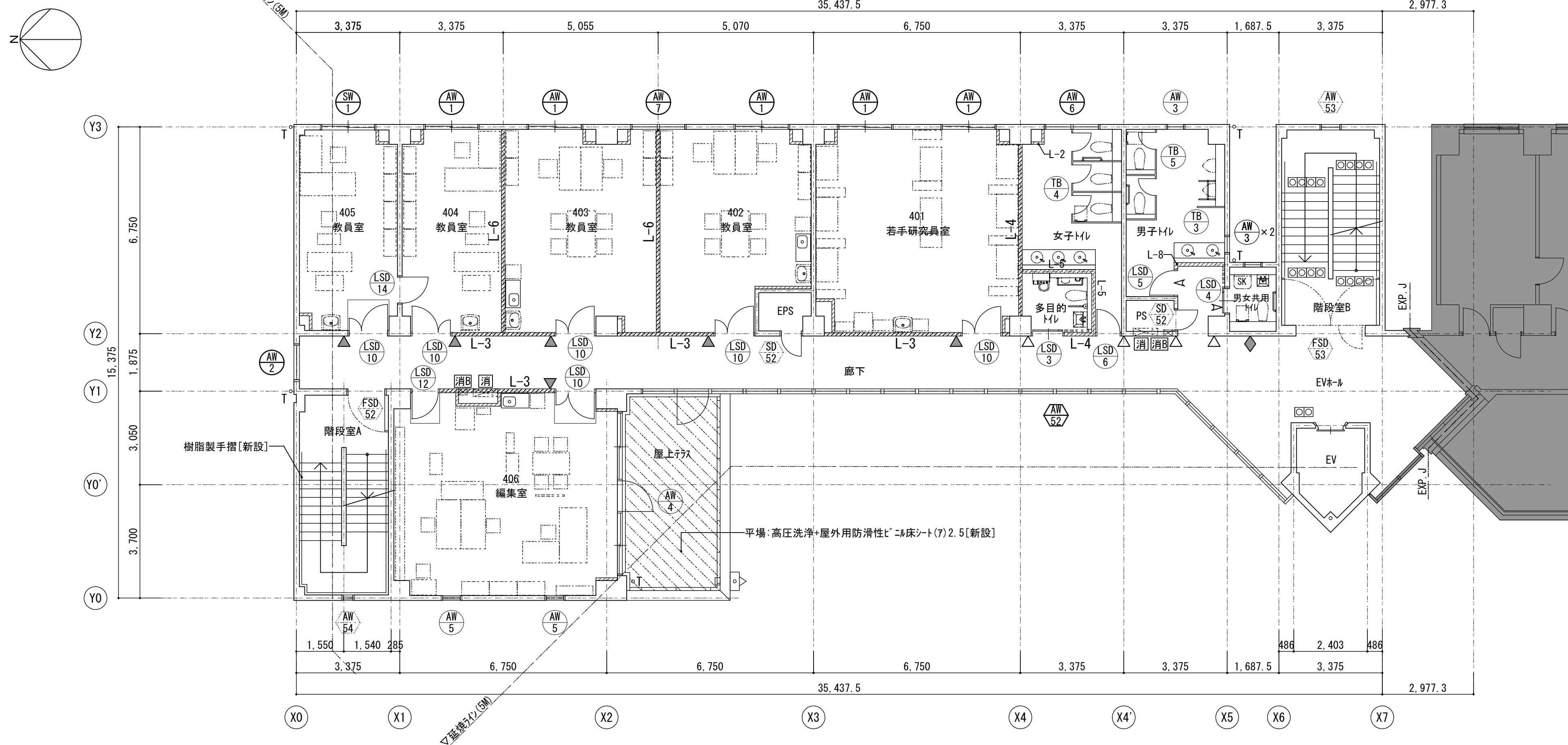


改修前 4階平面図

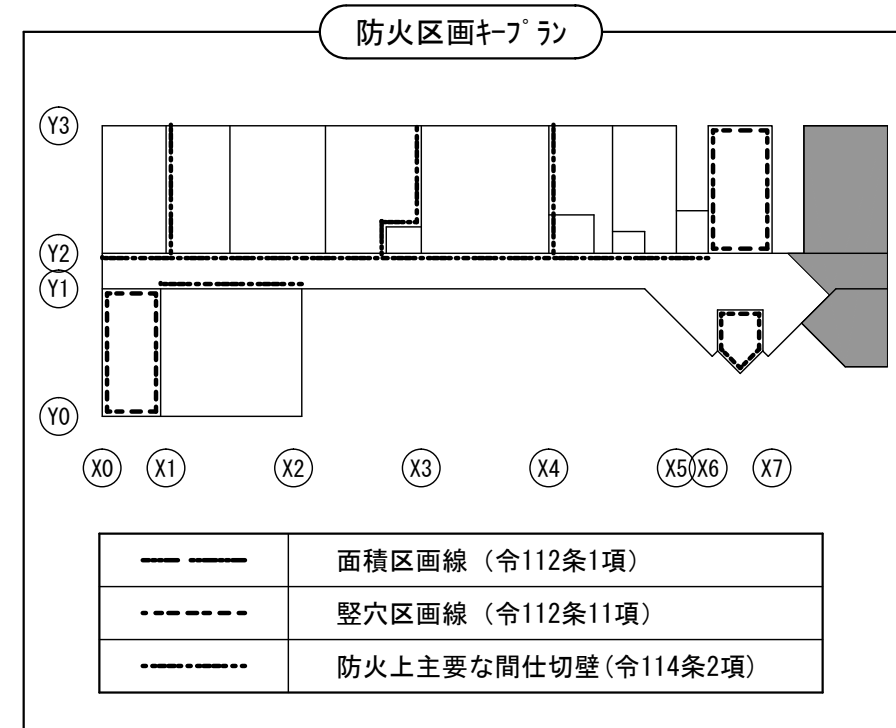


凡例		
	撤去建具を示す	
	改修建具を示す	
	既設建具を示す	[存置]
	LGS下地壁撤去を示す	[撤去]
	LGS+ (片面) GB-R (7) 9.0 [7含]	[撤去]
	LGS+ (両面) GB-F (7) 21+21 [7含]	[撤去]
	LGS+ (両面) GB-F (7) 15+15 [7含]	[撤去]
	LGS+ (両面) GB-F (7) 9+9 [7含]	[撤去]
	鉄筋コンクリート壁撤去を示す (※特記無き限り、(7) 120とする)	[撤去]
	縦樋: カラ-VP φ 100を示す	[撤去]
	室名札	[撤去]
	ビ-クサイン	[撤去]
	WB: ホワイトボード (W3400×H1200) (5F: 1箇所)	[撤去]
	NB: 掲示板 (W1800×H1500) (1F: 1箇所)	[撤去]
	BB: 黒板 (W3400×H1200) (3F: 1箇所)	[撤去]
	屋内消火栓	[※別途設備工事]
	消火器ボックス (埋込型)	[撤去]
	床下点検口 (600×600) (1F: 2箇所)	[撤去]

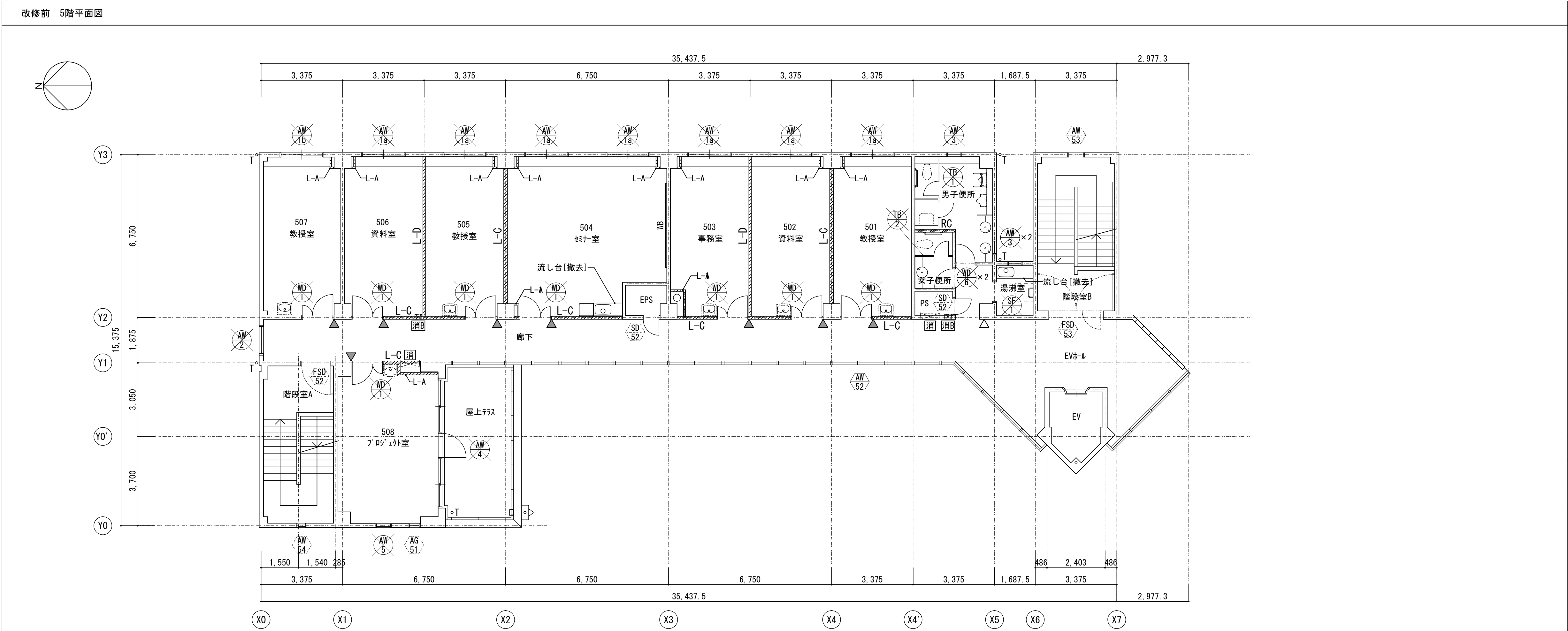
改修後 4階平面図



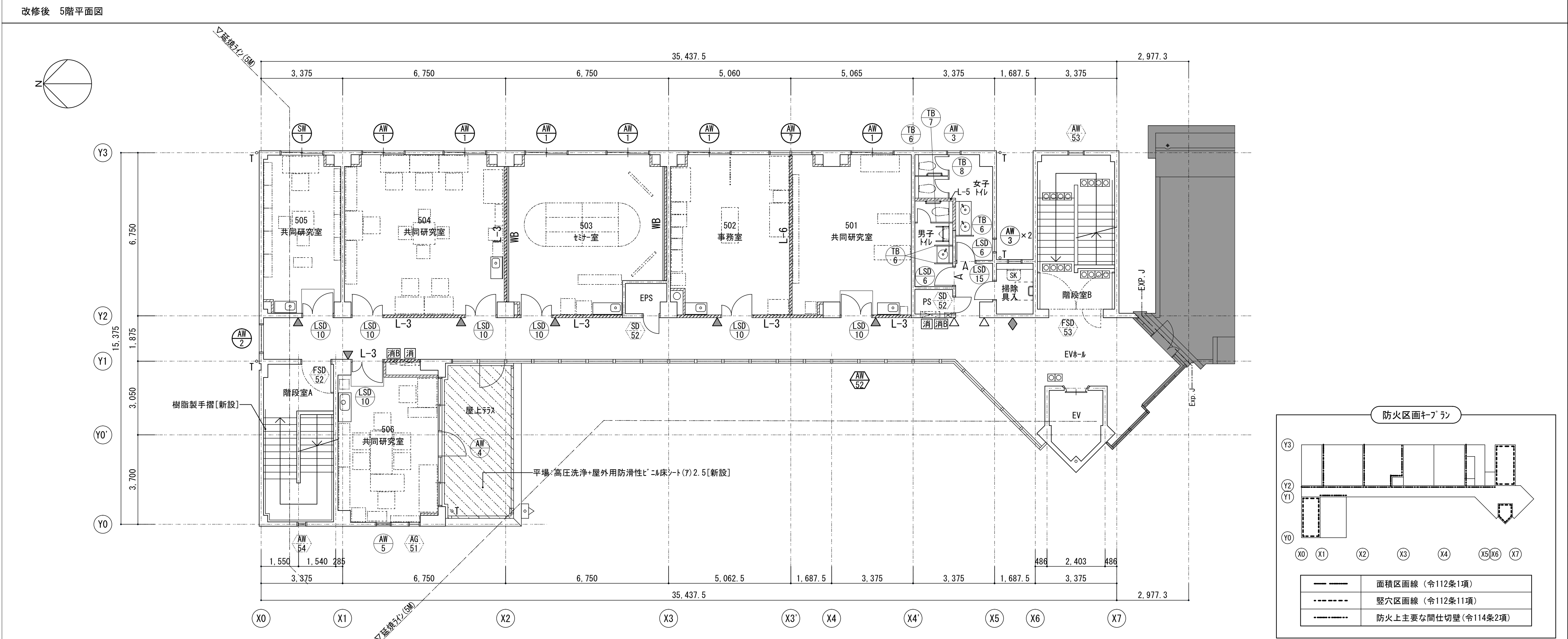
凡例		
	新設建具を示す	
	改修建具を示す	
	既設建具を示す	
L-※ 	LGS(65)下地壁新設を示す (※特記なき限りL-1とする) ※表層仕上:GB-F、GB-R、FK→EP塗	[新設]
L-1 	7φ壁:(片面)GB-R(7)12.5+9.5	[新設]
L-2 	水廻りPS:(片面)GB-S(7)12.5+7mm化粧板(7)3	[新設]
L-3 	耐火1H壁:(両面)GB-F(7)12.5+12.5	[新設]
L-4 	耐火1H+遮音壁:GW(7)50+(片面)GB-F(7)12.5+12.5 (片面)GB-F(7)12.5+12.5+7mm化粧板(7)3	[新設]
L-5 	遮音壁:GW(7)50+(両面)GB-S(7)12.5+9.5+7mm化粧板(7)3	[新設]
L-6 	(両面)GB-R(7)12.5+12.5	[新設]
L-7 	(両面)GB-S(7)12.5+7mm化粧板(7)3	[新設]
L-8 	(片面)GB-S(7)12.5+7mm化粧板(7)3 (片面)GB-R(7)12.5+12.5	[新設]
L-9 	遮音壁:GW(7)50+(片面)GB-S(7)12.5+9.5+7mm化粧板(7)3 (片面)GB-R(7)12.5+12.5	[新設]
W-1 	自立型間仕切壁:(片面)GB-R(7)12.5+9.5 (片面)GB-S(7)12.5+7mm化粧板(7)3	[新設]
○ T 	堅壁:φ7-VPφ100を示す	[新設]
◆ 	サインA(案内板)	[新設]
▲ 	サインB(室名サイン:平付型)	[新設]
△ 	サインC(ピクトサイン:平付型)	[新設]
A 	サインD(ピクトサイン:カティングシート貼)	[新設]
	点字サイン、誘導サインを示す(ステンレス)	[新設]
WB 	WB:ワイトボードパネル	[新設]
	屋内消火栓	[※別途設備工事]
	消火器ボックス(埋込型)	[新設]
	床下点検口(600×600) (1F:2箇所)	[新設]
+100 	床レベルを示す (特記なき限りFL=±0とする)	
	工事範囲外を示す	





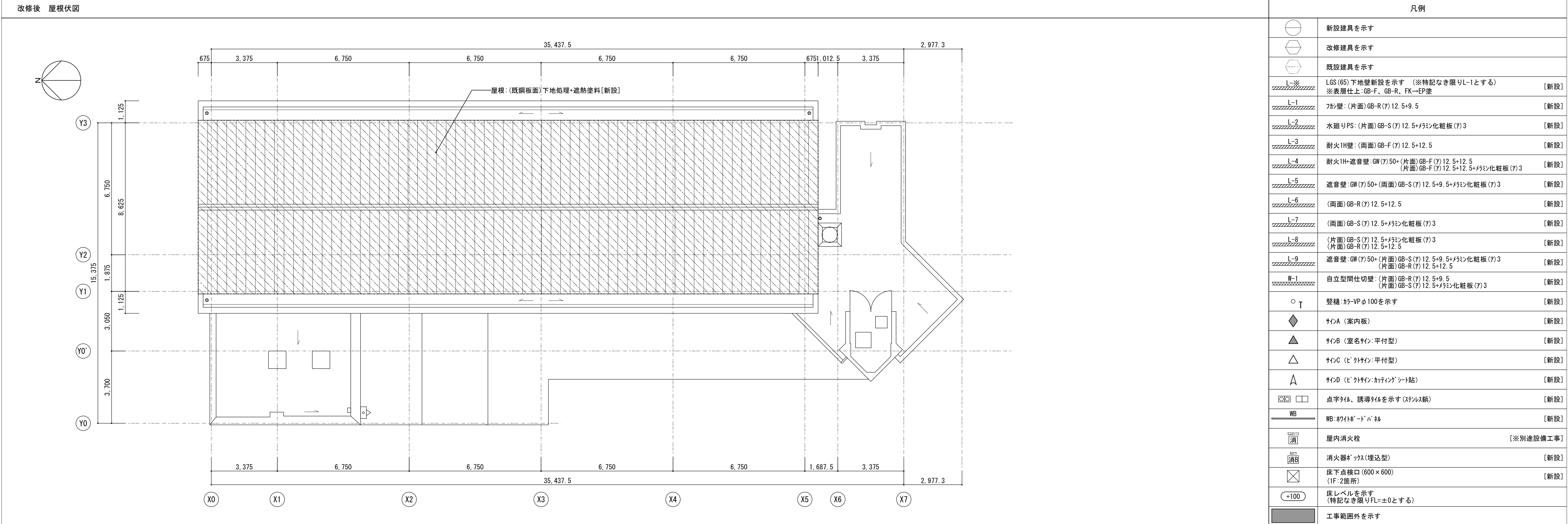
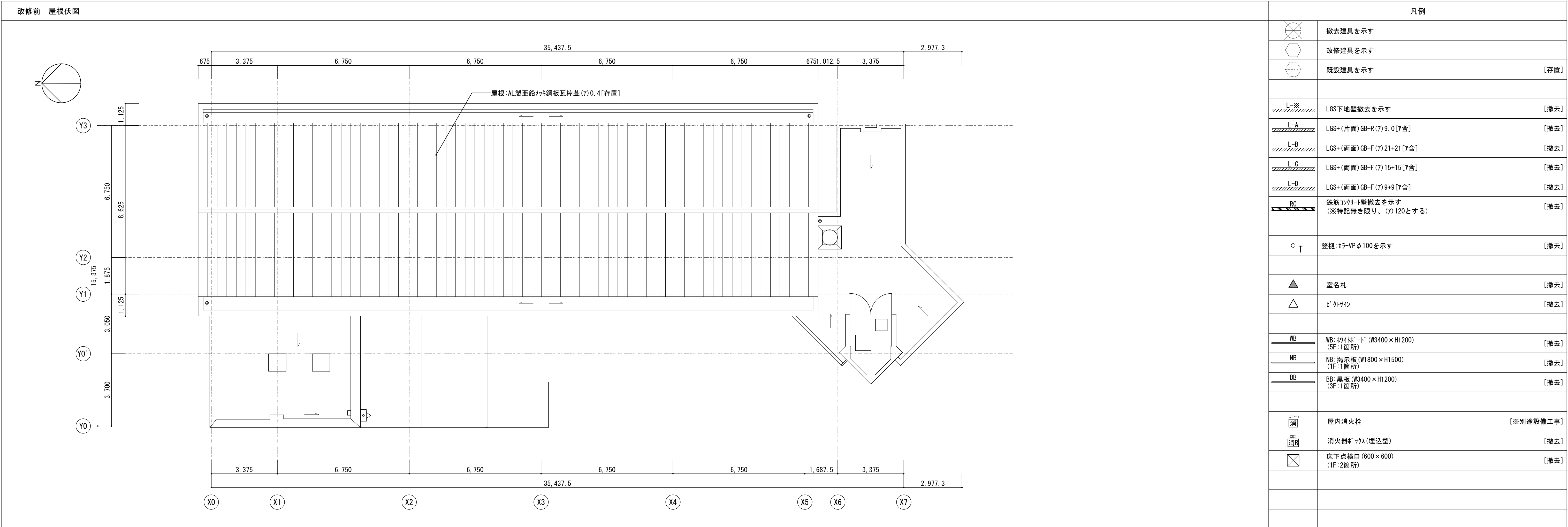


凡例	
	撤去建具を示す
	改修建具を示す
	既設建具を示す [存置]
	LGS下地壁撤去を示す [撤去]
	LGS+(片面)GB-R(7)9.0[7舍] [撤去]
	LGS+(両面)GB-F(7)21+21[7舍] [撤去]
	LGS+(両面)GB-F(7)15+15[7舍] [撤去]
	LGS+(両面)GB-F(7)9+9[7舍] [撤去]
	鉄筋コンクリート壁撤去を示す (※特記無き限り、(7)120とする) [撤去]
	縦樋: ｶﾞｰVP ｾ100を示す [撤去]
	室名札 [撤去]
	ﾋﾞｸﾄﾗｲﾝ [撤去]
	WB: ｵﾌｨｽﾞｰﾄﾞﾊﾞｰﾄﾞ (W3400×H1200) (SF:1箇所) [撤去]
	NB: 掲示板 (W1800×H1500) (1F:1箇所) [撤去]
	BB: 黒板 (W3400×H1200) (3F:1箇所) [撤去]
	屋内消火栓 [※別途設備工事]
	消火器ﾎﾞｯｸｽ(埋込型) [撤去]
	床下点検口 (600×600) (1F:2箇所) [撤去]

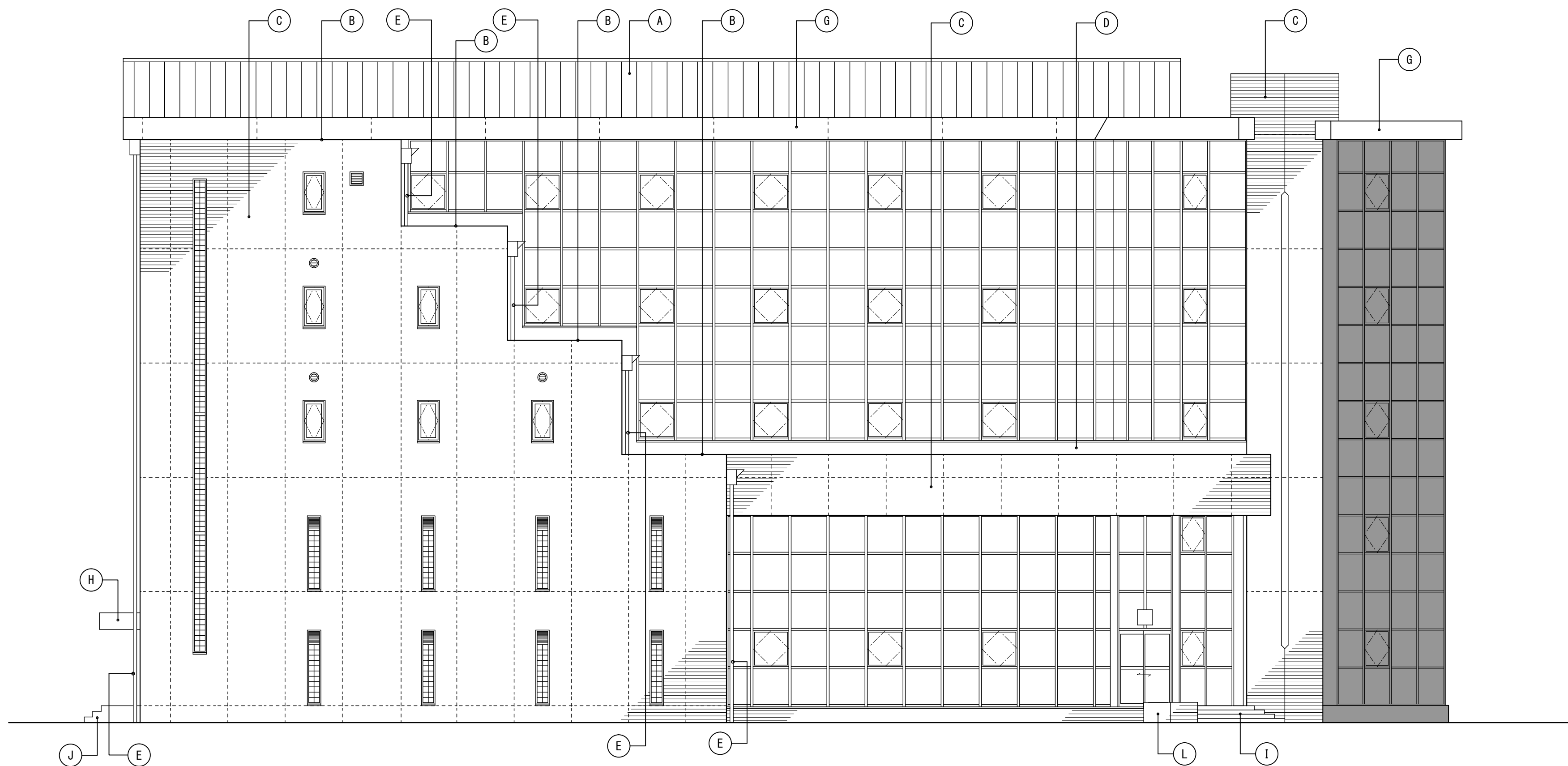


凡例	
	新設建具を示す
	改修建具を示す
	既設建具を示す
	LGS(65)下地壁新設を示す (※特記なき限りL-1とする) ※表層仕上:GB-F、GB-R、FK→EP塗 [新設]
	L-1 ｶﾅｼﾞ: (片面)GB-R(7)12.5+9.5 [新設]
	L-2 水廻りPS: (片面)GB-S(7)12.5+ﾏｼﾝ化化粧(7)3 [新設]
	L-3 耐火1H壁: (両面)GB-F(7)12.5+12.5 [新設]
	L-4 耐火1H+遮音壁: GW(7)50+(片面)GB-F(7)12.5+12.5 (片面)GB-F(7)12.5+12.5+ﾏｼﾝ化化粧(7)3 [新設]
	L-5 遮音壁: GW(7)50+(両面)GB-S(7)12.5+9.5+ﾏｼﾝ化化粧(7)3 [新設]
	L-6 (両面)GB-R(7)12.5+12.5 [新設]
	L-7 (両面)GB-S(7)12.5+ﾏｼﾝ化化粧(7)3 [新設]
	L-8 (片面)GB-S(7)12.5+ﾏｼﾝ化化粧(7)3 (片面)GB-R(7)12.5+12.5 [新設]
	L-9 遮音壁: GW(7)50+(片面)GB-S(7)12.5+9.5+ﾏｼﾝ化化粧(7)3 (片面)GB-R(7)12.5+12.5 [新設]
	W-1 自立型間仕切壁: (片面)GB-R(7)12.5+9.5 (片面)GB-S(7)12.5+ﾏｼﾝ化化粧(7)3 [新設]
	縦樋: ｶﾞｰVP ｾ100を示す [新設]
	ｻｲﾝA (案内板) [新設]
	ｻｲﾝB (室名ｻｲﾝ: 平付型) [新設]
	ｻｲﾝC (ﾋﾞｸﾄﾗｲﾝ: 平付型) [新設]
	ｻｲﾝD (ﾋﾞｸﾄﾗｲﾝ: ｶﾅﾃｲﾝｸﾞｼｰﾄ貼) [新設]
	点字ﾀｲﾍﾟ、誘導ﾀｲﾍﾟを示す (ｽﾃｰﾚｽ鉄) [新設]
	WB: ｵﾌｨｽﾞｰﾄﾞﾊﾞｰﾄﾞ [新設]
	屋内消火栓 [※別途設備工事]
	消火器ﾎﾞｯｸｽ(埋込型) [新設]
	床下点検口 (600×600) (1F:2箇所) [新設]
	床レベルを示す (特記なき限りFL=±0とする)
	工事範囲外を示す

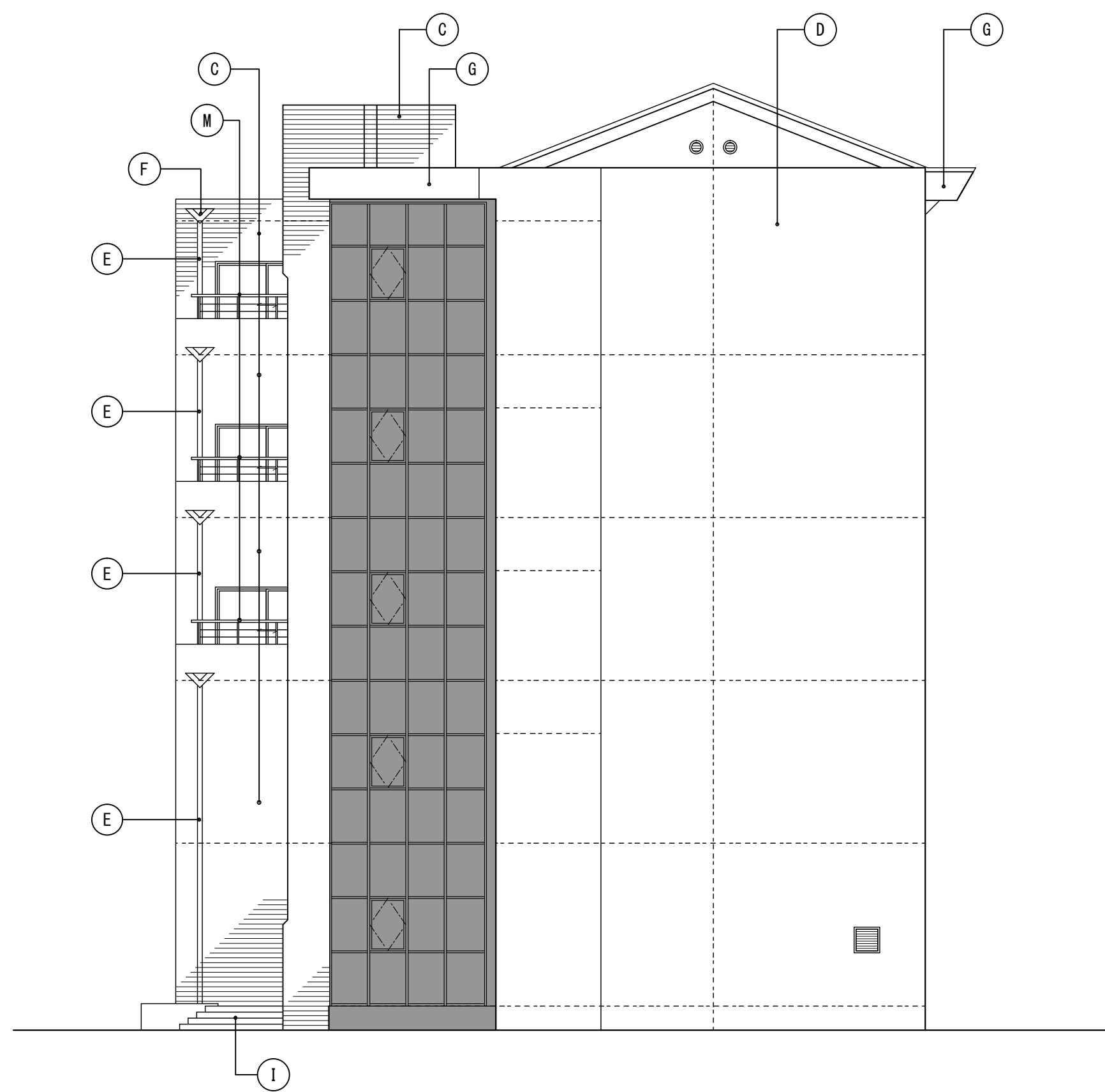




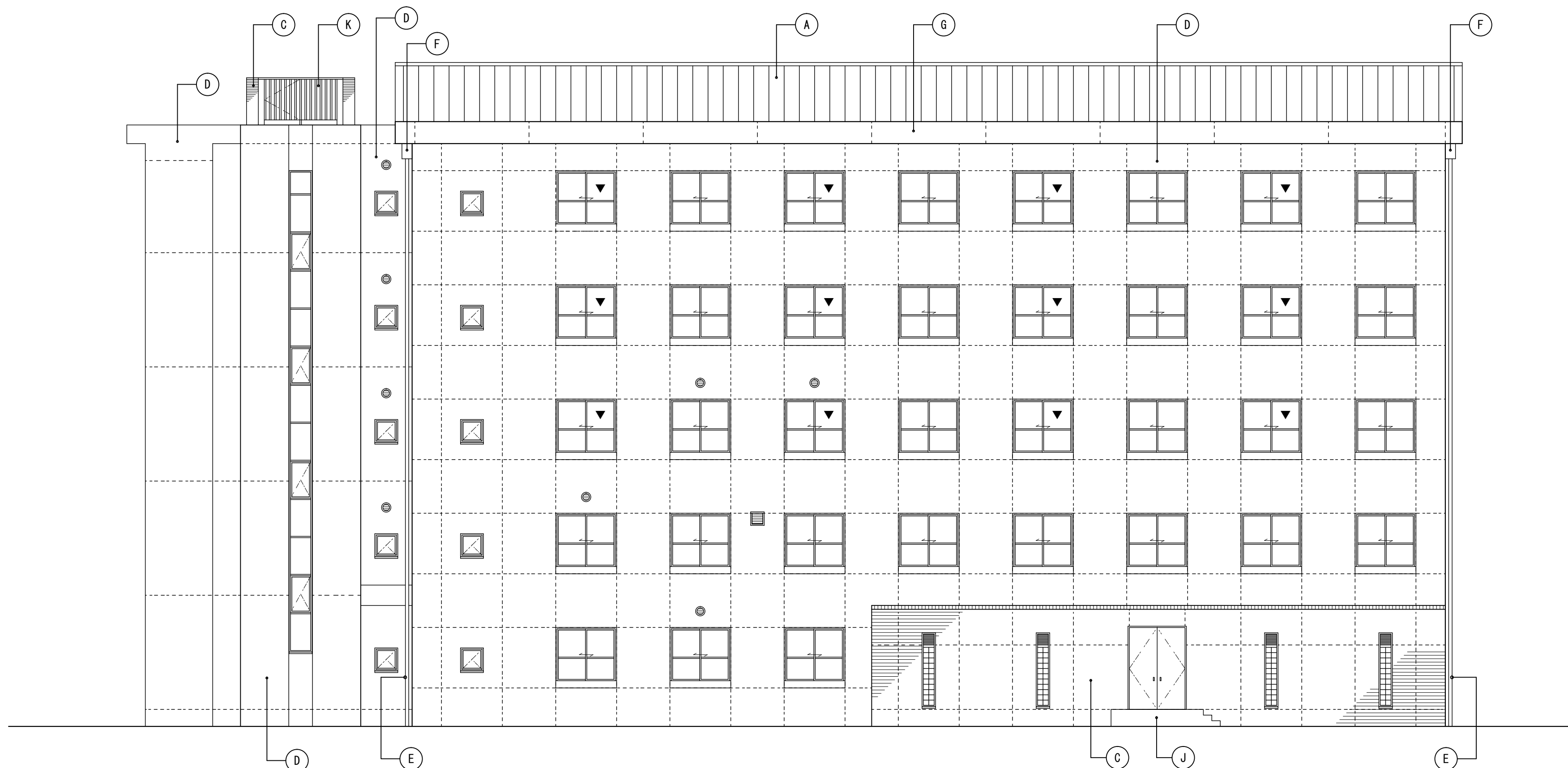




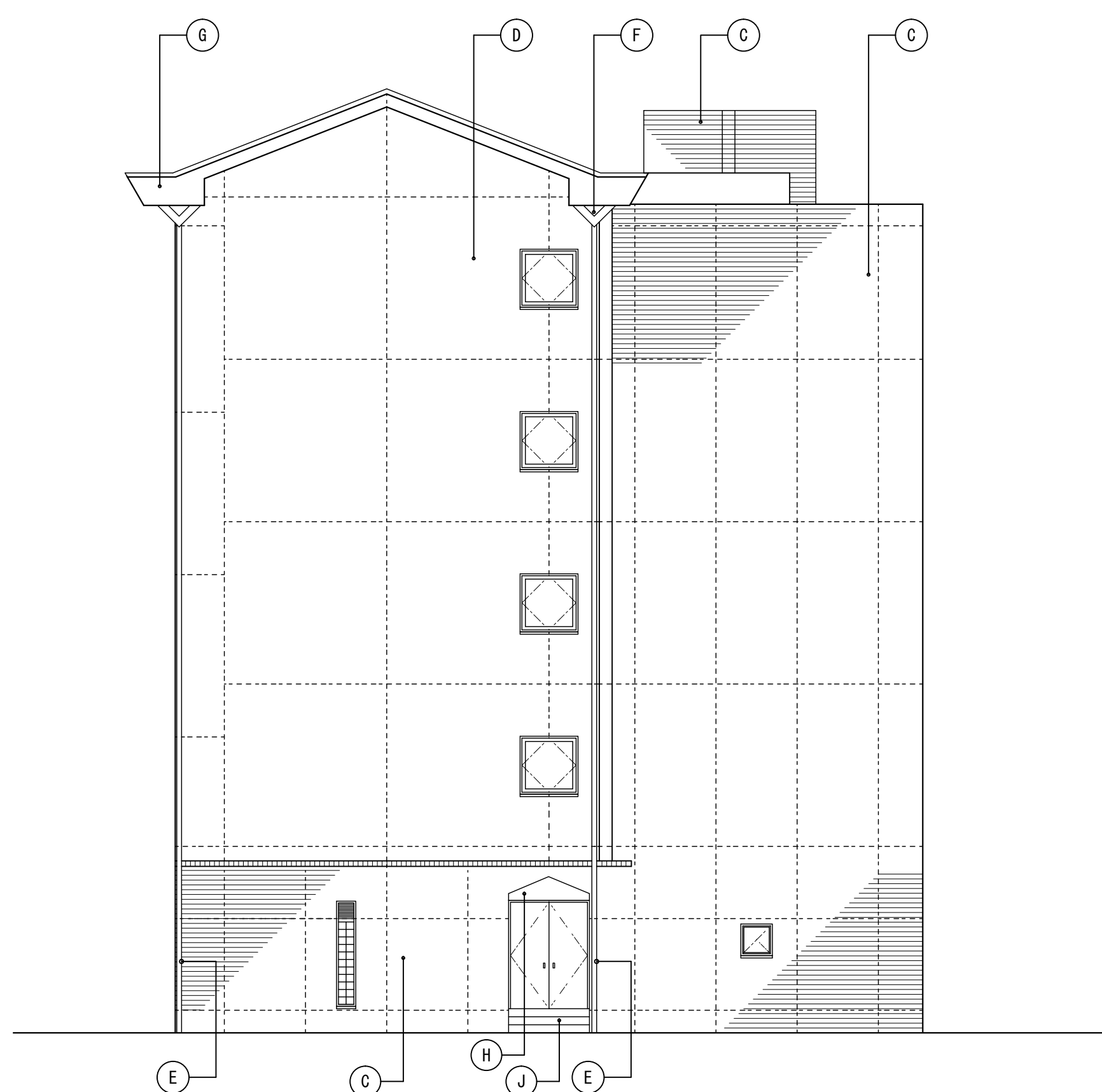
西立面図 1/100



南立面図 1/100

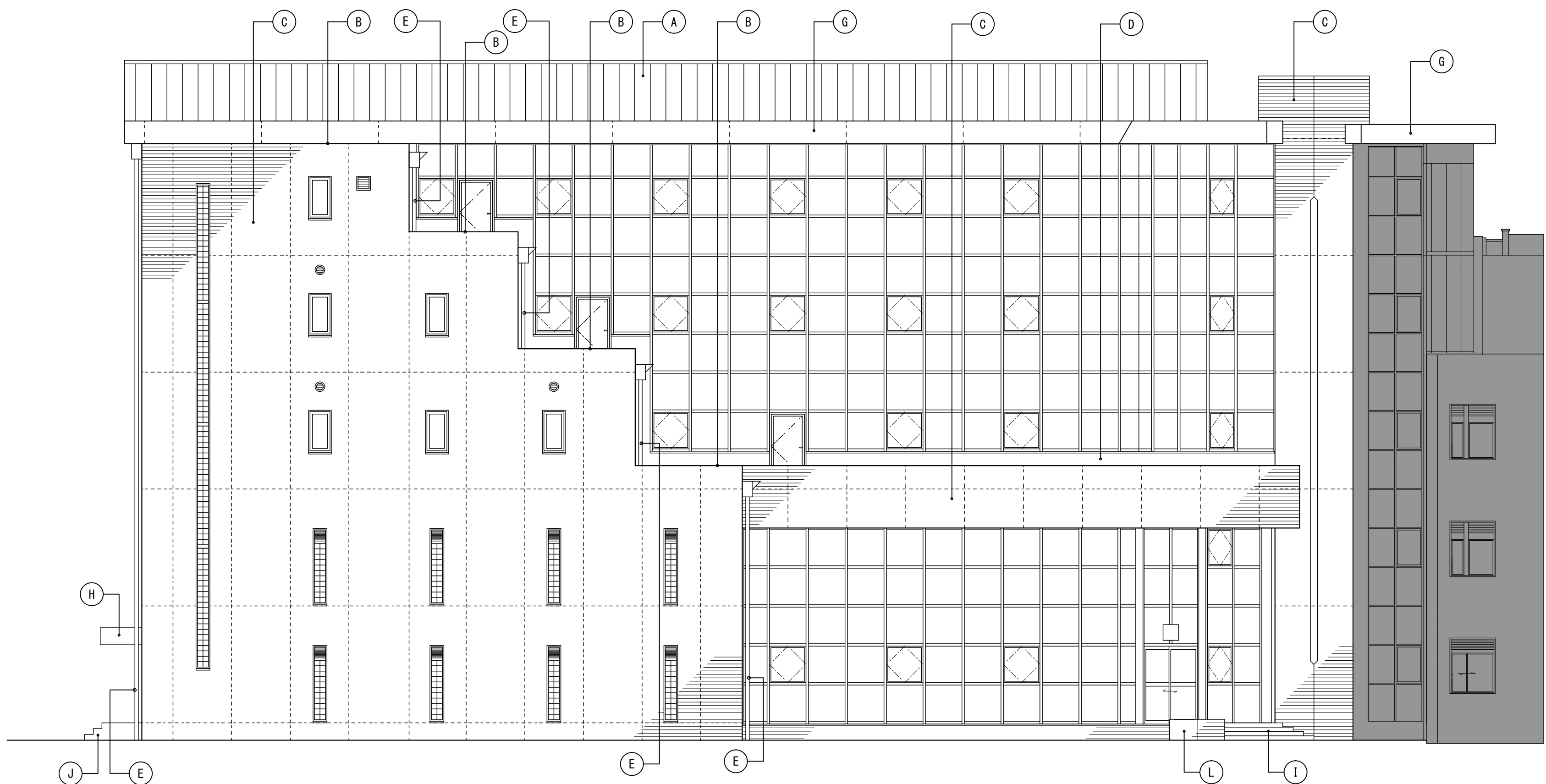


東立面図 1/100

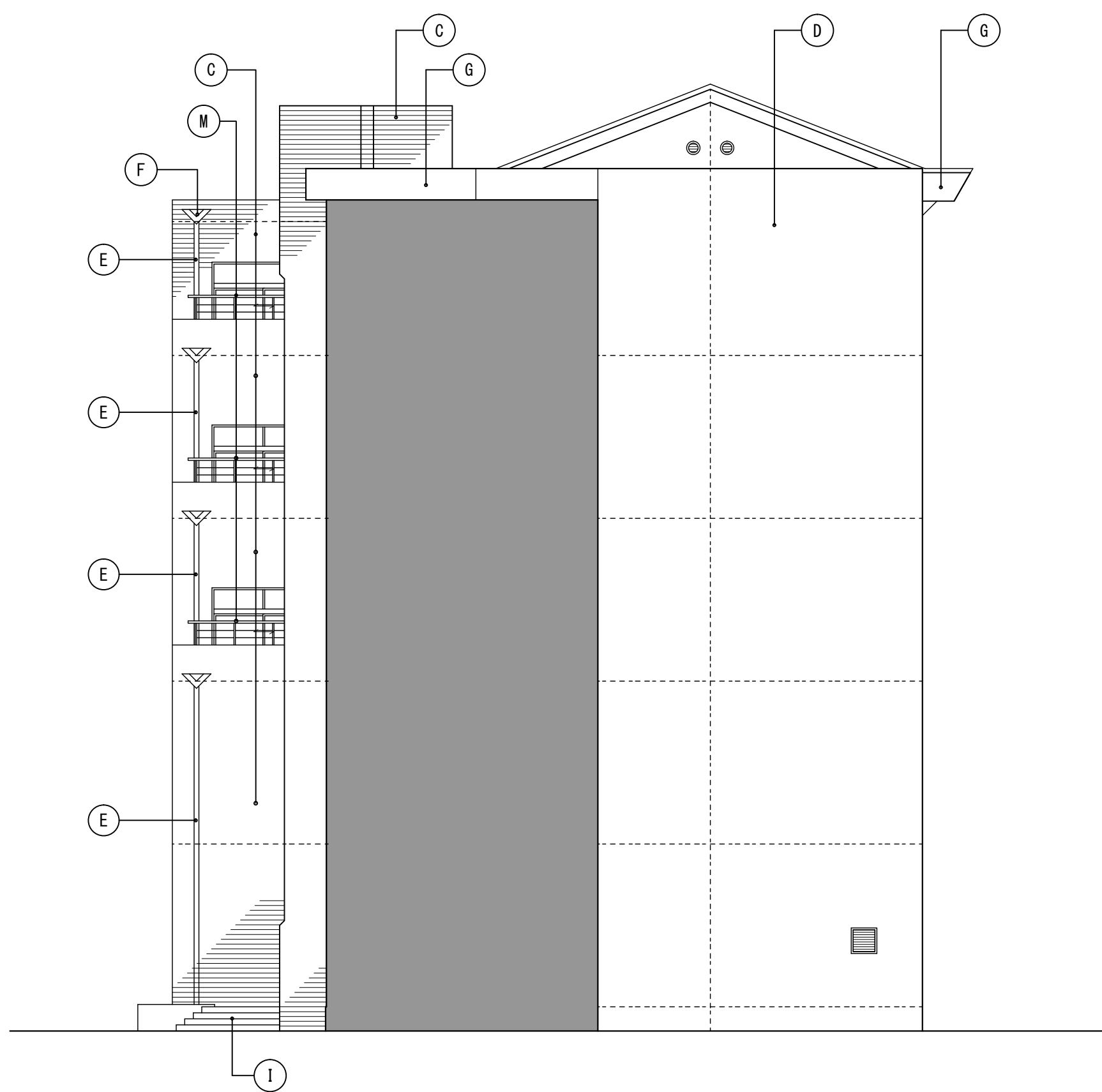


北立面図 1/100

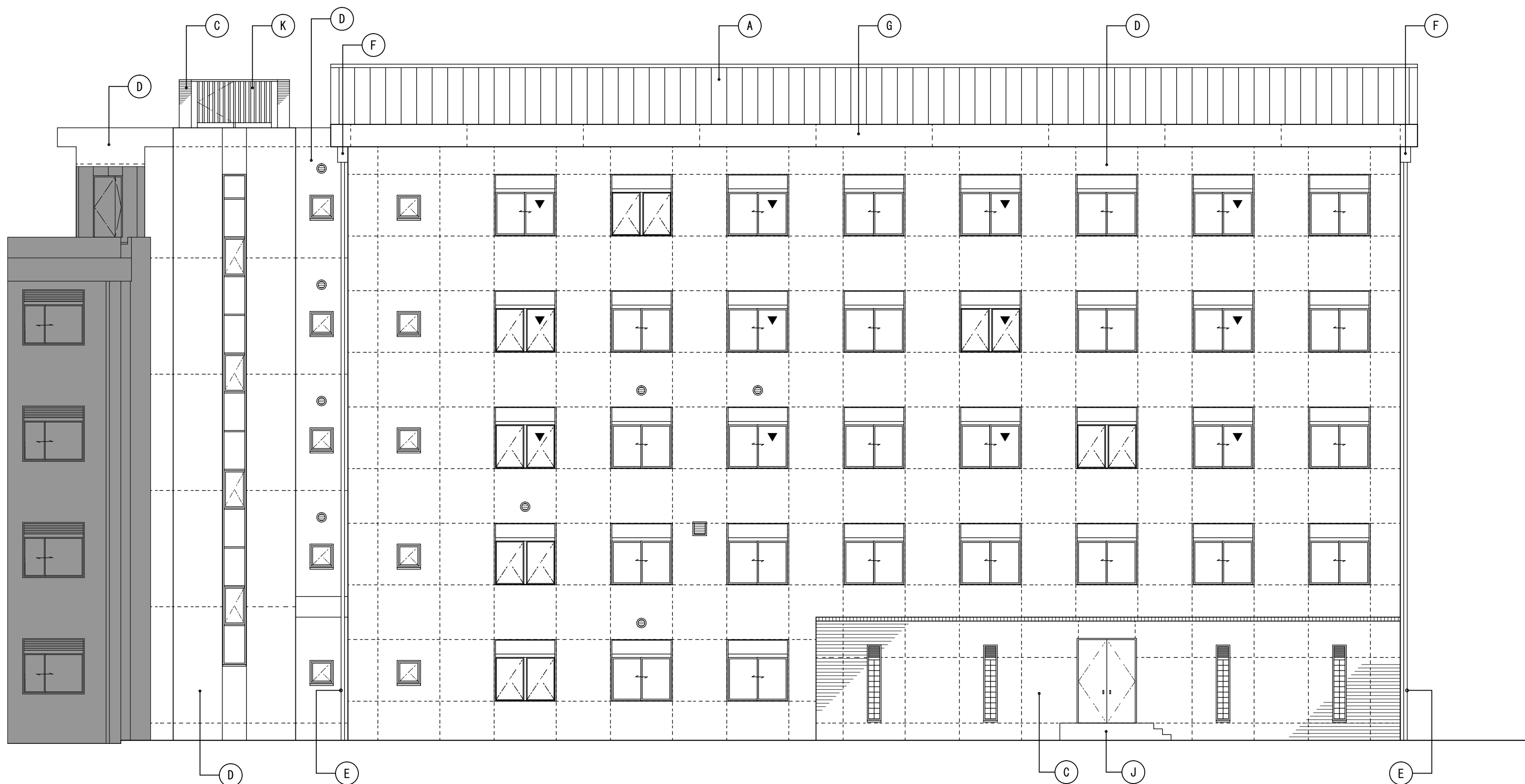
凡例				外部仕上										特記事項				
	工事範囲外を示す	記号	部位	仕上		記号	部位	仕上		記号	部位	仕上		※外壁面の々は撤去すること				
-----	シーリング 目地を示す (PS:25×10)	[撤去]	(A)	傾斜屋根	7mm製亜鉛メッキ鋼板瓦葺葺 (7) 0.4	[存置]	(F)	飾り	SUS製HL 仕上	[存置]	(K)	目隠しルーバー	ST製SOP塗					[存置]
▼	代替進入口		(B)	バラスト	AL製笠木	[存置]	(G)	庇A	コンクリート打放し+外装薄塗材E	[存置]	(L)	花壇	せり器質二丁掛り					[存置]
			(C)	外壁A	せり器質二丁掛り	[存置]	(H)	庇B	スチール製フッ素樹脂焼付塗装	[存置]	(M)	手摺	SUS製HL 仕上					[存置]
			(D)	外壁B	コンクリート打放し+外装薄塗材E	[撤去]	(I)	屋外階段A	レンガ 舗装	[存置]								
			(E)	壁樋	か-VP φ100	[撤去]	(J)	屋外階段B	コンクリート打放し	[存置]								
訂 正	令和 年 月 日					業務名称						工事名称 京都大学 (南部) 学内共同研究センター共同研究棟 改修機械設備工事		図面番号	令和 7 年 6 月			
												図面名称 立面図 (改修前)		縮尺 A1 1/100 A3 1/200	8			
														京 都 大 学 施 設 部				



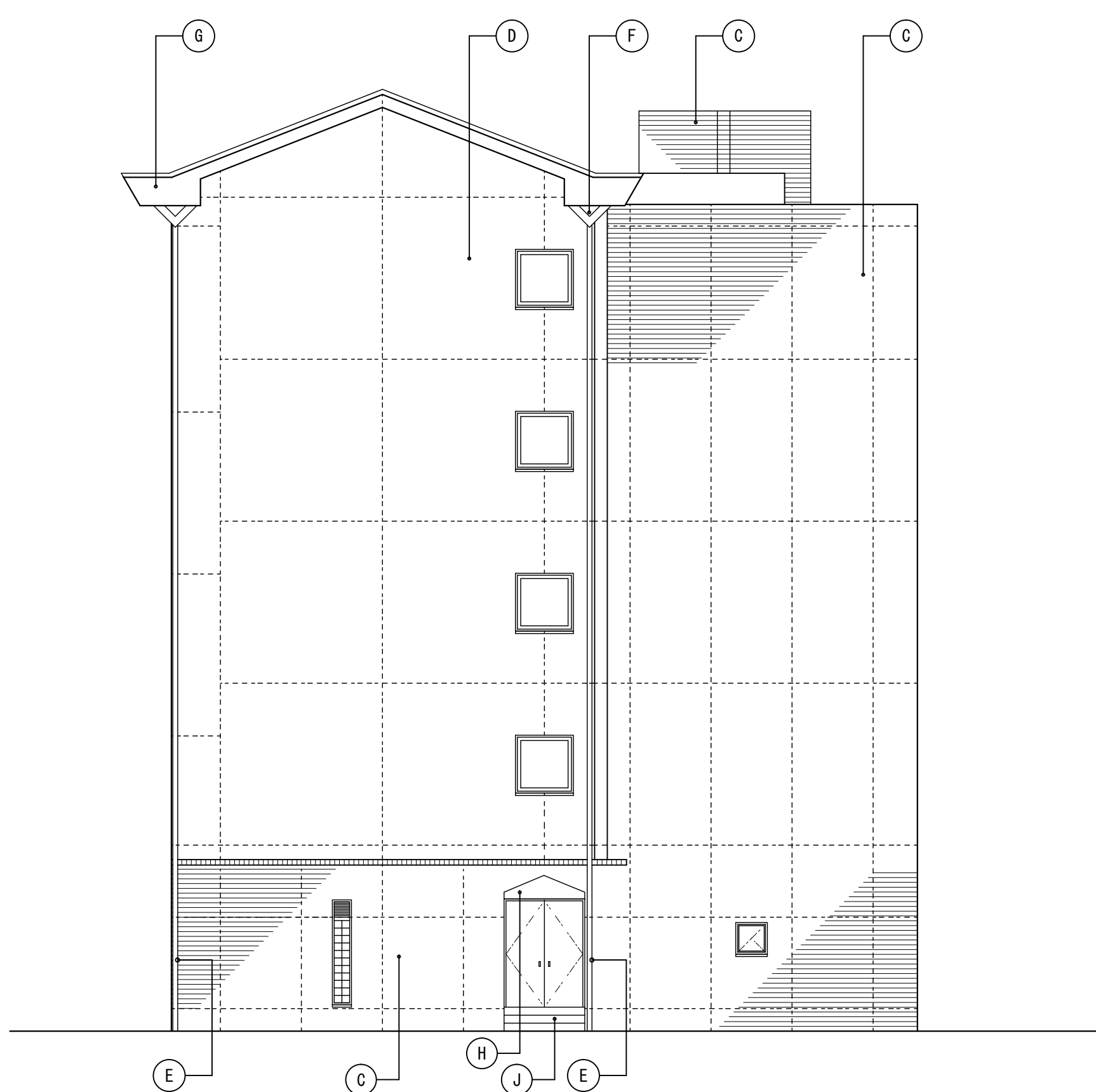
西立面図 1/100



南立面図 1/100



東立面図 1/100



北立面図 1/100

凡例				外部仕上										外壁下地補修リスト(参考値)		
	工事範囲外を示す	記号	部位	仕上	記号	部位	仕上	記号	部位	仕上	記号	部位	仕上	項目	数量(合計)	補修方法
	シーリング 目地を示す (PS:25×10)	[新設] (A)	傾斜屋根	(既鋼板面) 下地処理+遮熱塗料	[新設] (F)	飾り	—	[既設のまま] (K)	目隠しルーバー	DP塗替				ひび割れ部補修(吹付面)	15.0 (㎡)	自動式低圧球 杉樹脂注入工法
	代替進入口:三角シール	[新設] (B)	バルコニー	—	[既設のまま] (G)	庇A	(既吹付面) 下地処理+下地調整材(C-1塗)+複層塗材E吹替	(L)	花壇	(既吹付面) 下地処理+下地調整材(C-1塗)+複層塗材E吹替	(M)	手摺	—	浮き補修(吹付面)	7.5 (㎡)	アンカー・コンクリート 部分球 杉樹脂注入工法
		(C)	外壁A	(既吹付面) 高圧洗浄	(H)	庇B	—	[既設のまま] (I)	屋外階段A	高圧洗浄				※施工前に外壁調査を行うこと		
		(D)	外壁B	(既吹付面) 下地処理+下地調整材(C-1塗)+複層塗材E吹替	(J)	屋外階段B	高圧洗浄									
		(E)	壁面	か-VP φ100	[新設] (J)											
訂正	令和 年 月 日				業務名称								工事名称	京都大学(南部)学内共同研究センター共同研究棟 改修機械設備工事	図面番号	令和 7 年 6 月
													図面名称	立面図(改修後)	縮尺	A1 1/100 A3 1/200
															9	課
																長
														京 都 大 学 施 設 部		



